

8月の園だより

ツバメ

一度2つの巣からツバメが巣立ったのですが、また新しいツバメが来たのか同じ場所2か所、たんぽぽの部屋の軒下に1つ、ホールの外の入入口軒下に1つ、合計4つ新たにツバメが巣に座っています。夕涼み会の後ぐらいにホールの子ツバメは巣立ち、他もひながかえりました。まだまだにぎやかにツバメが飛んでいます。

避難訓練

園では毎月避難訓練をしています。地震の訓練では物が落ちてこない机の下にもぐったり、立っていると危ないので座って手で頭を守り、揺れがおさまったら避難します。火事の訓練では煙を吸い込まないように鼻と口を手で覆いながら避難します。

7月は火事の避難訓練と合わせ、サンコー防災さんに来てもらい大人の消火訓練を行いました。まず「火事だー！」と大きな声で他の人に伝え、それから消火器で火を消す訓練をしました。消火器の使い方の説明を聞きやり方を見せてもらい解ったと思っても、いざ自分の番になると緊張するものです。大人の様子を子どもも真剣に見つめていました。子どもは火事やケガをした人を見つけたり、何かあったときは直ぐに大人に知らせると言う話しをしました。



非常食を食べる

避難訓練と合わせ園の備蓄非常食の期限が切れることもありみんなで食べました。乳児はうまいもんで調理してくれ、幼児は部屋で担任がお湯を注ぎ作りました。初めて非常食をつくる職員もありました。どんな味だろう、みんな食べられるかなと心配しましたが、思いのほか子どもたちはおいしく食べてくれました。いざという時、慌てずに対応していけるよう日頃から体験しておくことは大事だと思いました。



夕涼み会

愛育会の皆さんが1カ月前から何度も園に来て準備を進めてくださり、4年ぶりに在園児全員参加の夕涼み会になりました。心配していたお天気も最後まで持ち、フランクフルトやかき氷、ゲームなど楽しい時間を過ごせました。

浴衣やちょっとおめかししてお祭りの雰囲気を感じての会になり、子どもも大人も笑顔でご機嫌でした。帰りは終わるのが心惜しくまだまだその場にいたい思いのみんなでしたね。後日子どもたちの会話を聞いていると「楽しかった」としっかり記憶されたようで、私たちも嬉しい気持ち思い出に刻まれています。愛育会の皆さま、ありがとうございました。



夢を織る会

ほぼ全員の方が参加してくださいました。4月からの子どもが描いた絵を見ながら、今年度になってからの子どもを振り返り、成長を喜び合うことができました。どの子もそれぞれの思いがあり、時々気持ちがわくわくします。自由画をしているとそのことがわかります。

日ごろお仕事にお家のことにと忙しいお父さんお母さんですが、我が子への思いを心の中にしっかり持っていること、そして子どもにもその愛が伝わっていることを改めて感じるようになりました。今後もお家と園とでお互いに情報交換しながら子どもの育ちを支え合っていきましょう。

園長 京極 桃子



子どもの家の屋根の上にいる子どもたちが「みて！セミが止まっている！」。見るとさなぎから生まれたばかりのせみ。その隣には抜け殻。屋根の上で出会えた場面。貴重な時間でした。プールではワニ、イルカ、たこ、ロケット…いろいろなものになりきって水しぶきをあげ、毎日楽しい歓声が聞こえています。本格的な夏の始まりです。

主任：福島かおり